



九州ロゴマーク
使用ガイドライン

Contents

目次

九州ロゴマークとは、「九州はひとつ」という理念のもと、九州・山口各県が一体となった取り組みを象徴するマークの呼称です。

本ガイドラインは、効果的な活用に向けたデザインシステムの理解と、実施展開の指針となるように編集したものです。

ロゴマーク制定の背景	1
本ガイドラインの使用方法	2
ロゴマークのコンセプト	3
A デザイン展開における基本原則	4
A・1 ロゴマーク基本形	5
A・2 ロゴマークの設計比率	6
A・3 アイソレーション	7
A・4 使用禁止例	8
A・5 その他のシンボルマークとの併記例	9
B ロゴマークの表示色	10
B・1 基本カラー	11
B・2 背景色の濃度によるカラー表現	12
B・3 背景が白の場合のカラー表現	13
B・4 背景が薄い色・同系色の場合のカラー表現	14
B・5 背景が黒の場合のカラー表現	15
B・6 背景が濃い色・同系色の場合のカラー表現	16
B・7 複数色で表現する場合	17
C 広報・広告・販促物・WEBなど	18
C・1 広告販促・展開例（雑誌広告、ポスターなど）	19
C・2 広告販促・展開例（名刺などのアプリケーション）	20
C・3 WEB・映像など	21
D 清刷り	22
お問い合わせ・申請先	23

Background

ロゴマーク制定の背景

●「九州地方知事会」では、「九州はひとつ」の理念のもと広域的課題の解決に向け、九州・山口各県が一体となった独自の取り組みを進めています。また、経済団体と共同で「九州地域戦略会議」を設置し、官民一体となって地域の発展に取り組んでいます。

●九州地方知事会及び九州地域戦略会議の取り組みとしては、「九州創生アクションプラン」を立案、産業創出や教育環境などに関わるプロジェクトを設置、協議・活動を行っています。

●今後、2019年のラグビーW杯、その翌年の2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会という、世界各国からの注目が集まる絶好の機会が到来します。

●この機会に九州がさらに一体感を醸成し、各プロジェクト活動において広報効果を発揮するため、九州・山口各県が一体となった取り組みを象徴するマークを制定し、統一的に使用していくこととなりました。

●各プロジェクト活動関係者におかれましては、製作する各メディア（※）において、本ガイドラインに沿ってロゴマークを使用し、九州としての認知及びブランドイメージの醸成につなげていただきますよう、お願いいたします。

※メディア：名刺、封筒、書類、パンフレット、ポスター、WEB、動画、看板、展示会、ピンバッジ、ユニフォーム、各種広報媒体等

Method of Application

本ガイドラインの使用方法

本ガイドラインは、「九州ロゴマーク」のデザインシステムにおける基本的な枠組の設定と、その具体的な応用についての基本的指針を示したものです。

本ガイドラインは、以下の章から構成されています。

- A) 基本デザイン要素
- B) 基本デザインシステム
- C) 展開デザインシステム

デザインシステムの実施展開に際しては、以下の2点を厳守してください。

- 1) 媒体の作成においては、アイデンティティを確立するための基本デザイン要素の忠実な再現を行う。
- 2) 基本デザイン要素の再現にあたっては、「マスターデータ」を必ず使用する。

ロゴマークは、イメージを効果的に発信するための手段として、各種印刷物、イベント、販促物、サインなどで幅広く使用します。

使い方について

●権利の帰属

ロゴマークに関する一切の権利は、「九州地域戦略会議」に帰属します。

●注意事項

ロゴマークは、イメージを損なわないよう、正しい配置、指定のカラーで表示してください。

なお、シンボルを使用し、誤ったイメージを伝えるような表現や信用や品位を損なう恐れがあると認められる場合には使用を制限することがあります。

九州はひとつ

^{のれん}
『暖簾』をデザインモチーフに、「九」「州(しゅう)」「一」のそれぞれの文字を組み合わせ、「ひとつの州(くに)」を描きました。「九州はひとつ」であることを表現し、漢字をシンボル化し「日本らしさ」「アジアからの発信」を表現しています。「『暖簾』は街を賑やかにし、生活環境を華やかにしていきます」
県外や海外からのお客様に「九州の『暖簾』をくぐっていただきたい」というメッセージも込めました。



K Y U S H U

デザイン・エレメントについて

【暖簾】

日本の伝統的な〈しるし=シンボル〉としての『暖簾』は視覚伝達という役割のほかに、家族の象徴であり伝統を受け継ぎ守るものとされてきました。本ロゴマークでは、九州の人々が共有し後世に伝達・継承するシンボルとして用いています。『暖簾』を直接的に目にするのはお店などの商業ですが、背景には農業・製造業などの産業があり、様々な産業が関わりあっています。私たちすべての人が九州でひとつの『暖簾』を掲げます。

【州(しゅう、す、しま、くに)】

古代では「日本=ジパング=州(くに)」であり、独立国家・統一国家のことを「州(くに)」と称したようです。

【揺らぎの曲線】

九州は周囲を海に囲まれ、古代から今に至るまで海外と文化の交流をしてきました。海の幸にも恵まれた「九州の海」を、連続する揺らぎの曲線で表しています。また「お客様を迎え入れる『暖簾』が柔らかい海風に揺らいているようにも見えます。

A : Basic Design Elements

A : デザイン展開における基本原則

「九州ロゴマーク」を効果的に活用しブランド力を高めていくためには、日々の一貫した視覚的コミュニケーション活動において、1つ1つの効果を蓄積・継続させていくことが大切です。視覚的コミュニケーション活動の中心となる媒体について、基本原則を記述すると次のようになります。

- 1) アイデンティティ目標を明確にする。
- 2) 高いデザイン水準での表現を心掛ける。
- 3) 全ての媒体が果たすべき目的と役割を十分に理解する。

以上の3点を明らかにしておくことが重要であり、展開の基本原則となります。

ロゴマークの再現にあたっては必ずマスターデータを使用し、本ガイドラインを遵守して正しく再現してください。

【再現するにあたって】
図示のシンボルと欧文ロゴタイプ(KYUSHU)は常に、1組のセット(一体化)として使用してください。
「シンボルのみ」「欧文ロゴタイプ(KYUSHU)のみ」の単独表示はできません。

【使用最少サイズ】
図示のサイズは、印刷物における既定値です。これ以下のサイズでは使用しないでください。印刷物以外の場合は、条件が異なるため特別に定めませんが、個々の適応物に応じた再現可能な限界を、それぞれの使用最少サイズとします。



●使用最小サイズ



ロゴマークは、「黄金比」によって設計されています。「黄金比」とは数学的な比率を表し、デザインにおいて、美しい調和のとれた割合を表現するために利用されています。自然界やデザインなどにも多く利用されており、見た目が美しいとされる構図を描くことができます。下図のように、ひとつの線を $A \cdot B$ の長さで2つに分割するとき、 $A : B = B : (A + B)$ が成り立つように分割したときの比 $A : B$ のことであり、その値はどちらも1.618となります。

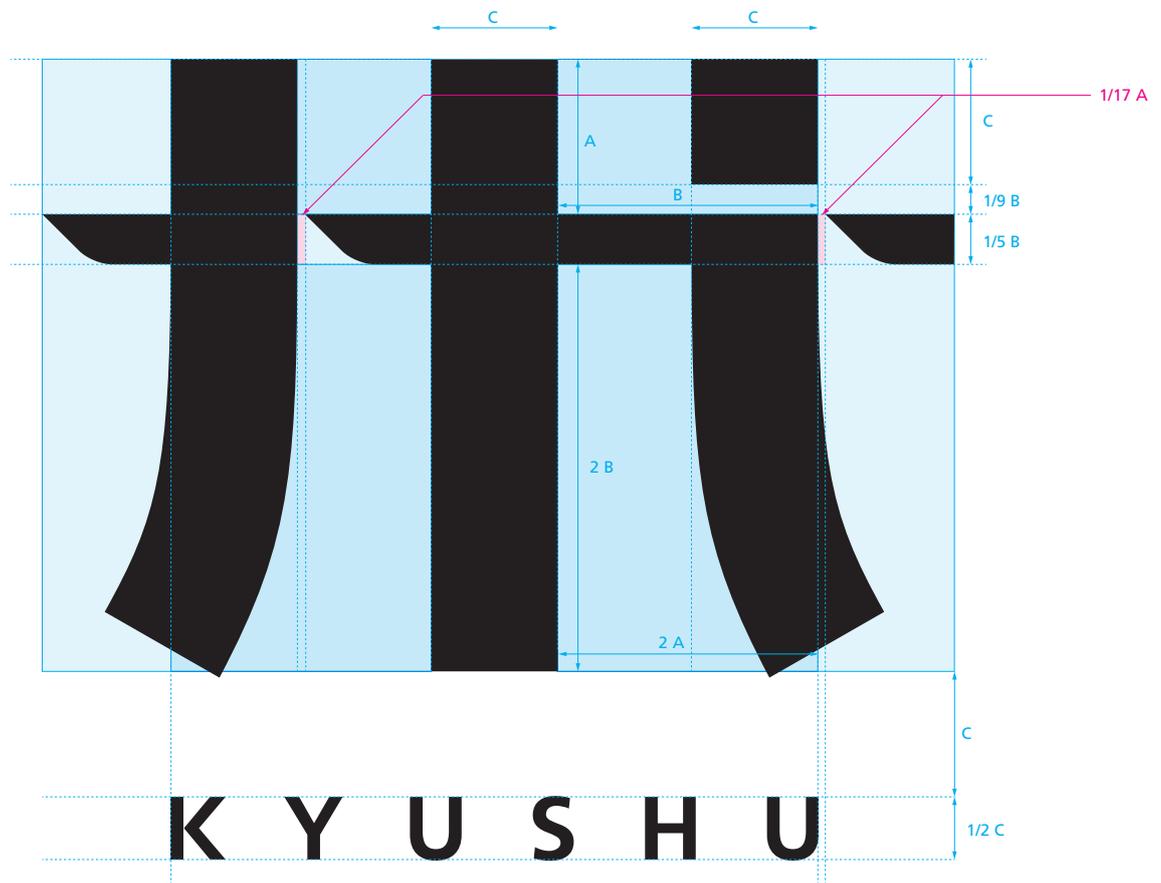
この黄金比を利用した美しい比率は、何世紀にもわたって利用されており、ギザの大ピラミッドからギリシャにあるパルテノン宮殿、シスターナ礼拝堂内にあるミケランジェロの「アダムの創造 (Creation of Adam)」にも利用されています。さらに私たちの体や顔でさえも、数学的な比率で表現されています。

また、「九州ロゴマーク」では漢字の「九州 (欧文や造形でのモチーフとの類似を避けるため)」をモチーフにしています。

グローバルマークとして、あえて漢字の「九

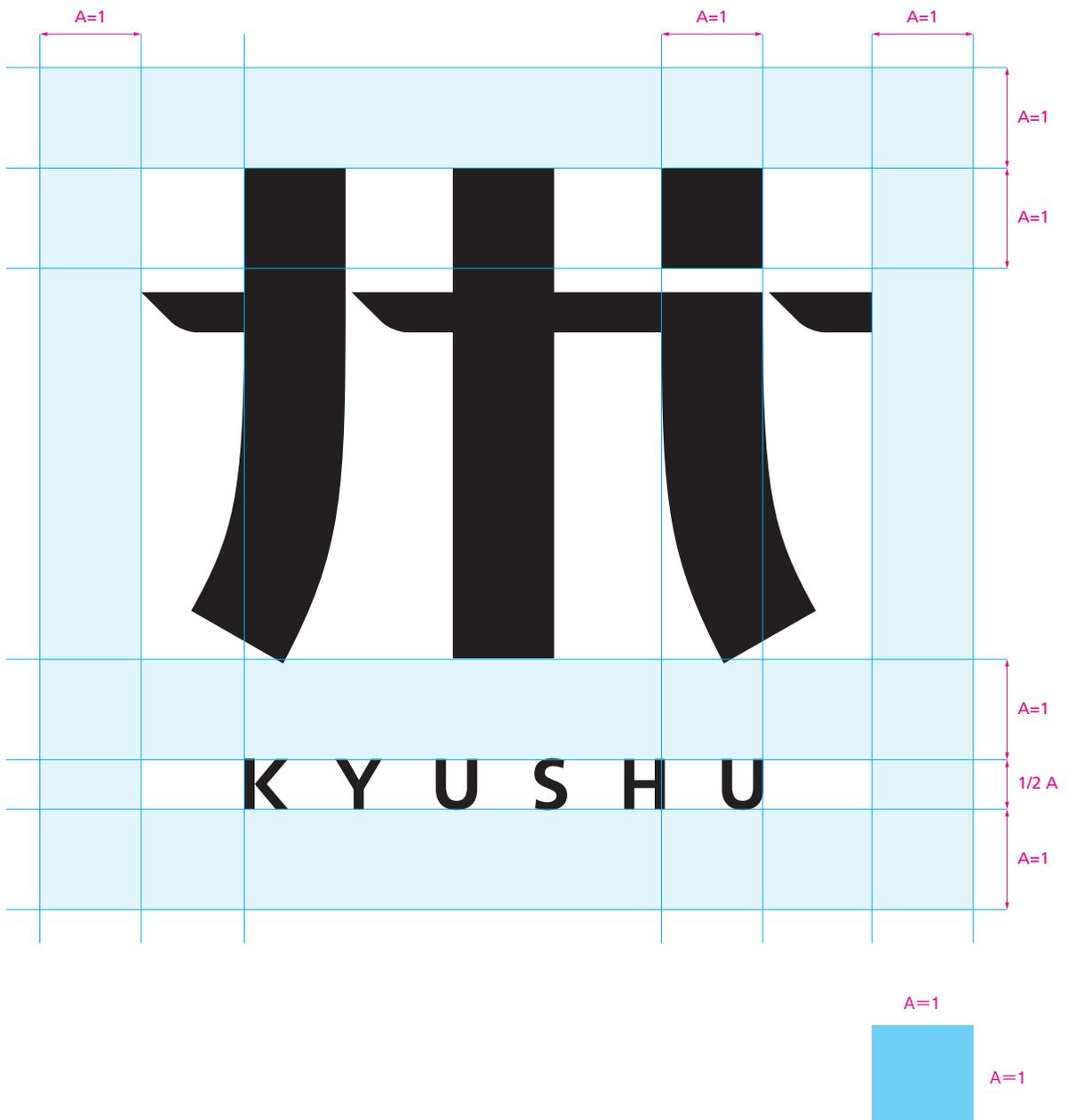
州」をシンボル化し「日本らしさ」「アジアから発信する」を表現しています。

よって、「KYUSHU」をルビ (読み仮名) 扱いにし、ロゴマークのパターン (欧文表記、和文表記など) を減らし、シンボルを統一 (簡素化) しています。



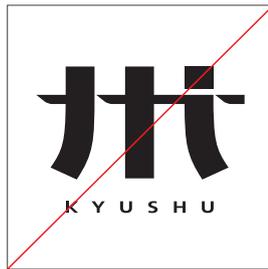
アイソレーションとは、ロゴマークを美しく見せるため、他の要素との分離スペースを保護する範囲を設けます。
下記の最小の規定値 (A=1) を参考にし、必ずこれ以上のスペースを取ってください。

●基本形

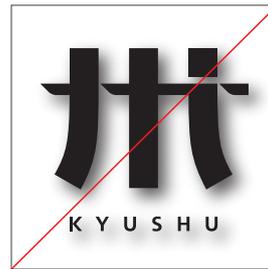




斜体をかけるなど
変形してはならない



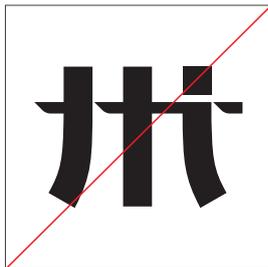
平体や長体に
変形してはならない



影をつけてはいけない



インパクトの強い文字や図形を
近くに表示してはならない



シンボルを単独で
表示してはいけない



ロゴマークのバランスを
変えてはいけない



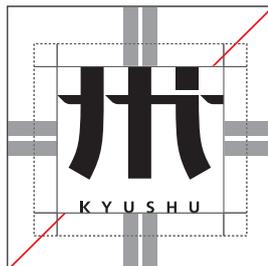
シンボルとロゴタイプの
組み合わせを変えてはならない



ロゴタイプの
書体を変えてはならない



枠で囲ってはならない



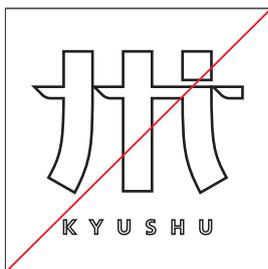
アイソレーションの規定に
反してはいけない



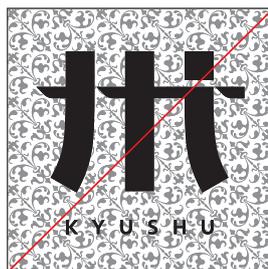
ふちどりをしてはいけない



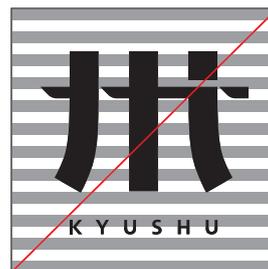
ロゴマークを分断する
ような背景に表示してはいけない



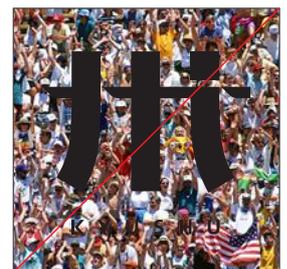
アウトラインにしてはならない



複雑なパターンの中に
表示してはいけない



強烈なパターンの背景の上に
表示してはいけない



複雑な写真の上に
表示してはいけない



シンボルとロゴタイプを
4色以上の色で表現しては
ならない



シンボルをパターンなどで
表現してはならない



シンボルをグラデーションで
表現してはならない

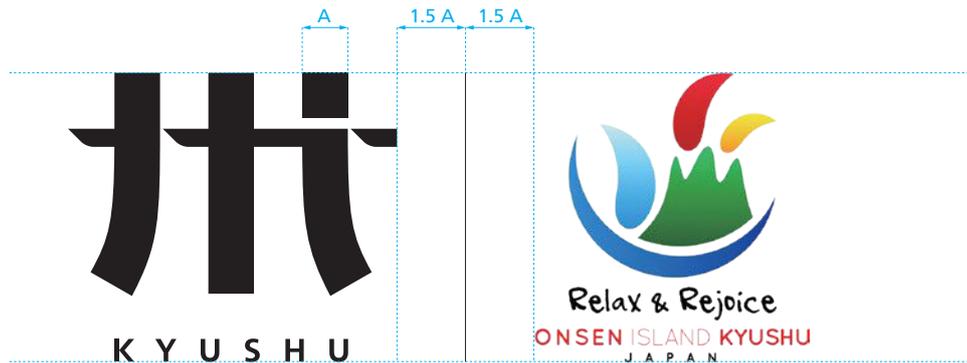


シンボルを分断して複数色で
表現してはならない

「九州ロゴマーク」とその他のシンボルマークを併記する場合は、以下の例を参考にしてください。

「九州ロゴマーク」と「その他のシンボルマーク」が同じ大きさ、もしくは「九州ロゴマーク」が「その他のシンボルマーク」より小さく見えるように使用しないでください。

●横に組み合わせる場合



他のシンボルとの間に0.1mm以上のスミのケイ線を入れてください

●縦に組み合わせる場合



他のシンボルとの間に0.1mm以上のスミのケイ線を入れてください

B : Color

B : ロゴマークの表示色

「九州ロゴマーク」はブラック=黒を使用の基本原則としますが、適用アイテムの特性上、1色表示もあります。ポジタイプとネガタイプの両方の表示方法をとることができますが、カラーを含めた「九州ロゴマーク」のイメージをなるべく伝えるために、できる限りポジタイプを使用してください。

また、色（カラー）での表現も可能です。特に色の固定はしていませんので、媒体のデザインに合わせて適切な色で表現して下さい。

●背景とシンボルの視認性（濃度）を明確に確認しておくことが重要となります。

「九州ロゴマーク」では基本カラーを「ブラック=黒」に設定しています。

背景のグレースケールによって「ポジ表現」「ネガ表現」の設定をいたします。「黒」は色であると同時に「色」ではないという概念である為、どこにも属さない固有のカラーです。また、「黒」は力強く優雅であり「何色にも汚されない」色でもあります。

「九州ロゴマーク」のコアエレメントであるシンボルカラーは独自性を表現し、他のシンボルマークとの明確な差別化をはかろうとするものです。

●ポジタイプ



K Y U S H U



ユニバーサル・ブラック

DIC 581

PANTONE Process Black C

CMYK K100

●ネガタイプ



K Y U S H U

「九州ロゴマーク」では基本カラーを「ブラック=黒」に設定しています。
背景のグレースケール濃度によって「ポジ表現」「ネガ表現」の設定をしています。

●ネガ表現

背景がアミ 90%~40%の濃度の場合は白ヌキ



背景=アミ90%



背景=アミ80%



背景=アミ70%



背景=アミ60%



背景=アミ50%



背景=アミ40%

●ポジ表現

背景がアミ 30%以下の濃度の場合はスミ



背景=アミ30%



背景=アミ20%



背景=アミ10%

「九州ロゴマーク」では基本カラーを「ブラック＝黒」に設定していますが、多様な色での表現も可能です。

色は特に固定せず使用の媒体のデザインに合わせて適切な色で表現して下さい。

使用の自由度を高めることによりロゴマークの利用を促進し、九州の一体感の醸成を図ります。

色は限定しませんが、下記を見本に濃度のパーセンテージ基準を厳守して下さい。

カラー表現例

K Y U S H U

C=60%
M=100%
計=160%

K Y U S H U

C=100%
M=70%
計=170%

K Y U S H U

C=100%
計=100%

K Y U S H U

C=100%
Y=50%
計=150%

K Y U S H U

C=100%
Y=100%
計=200%

K Y U S H U

C=100%
Y=70%
計=170%

K Y U S H U

M=100%
Y=100%
計=200%

K Y U S H U

M=100%
Y=50%
計=150%

K Y U S H U

M=100%
計=100%

K Y U S H U

C=50%
Y=100%
計=150%

K Y U S H U

M=50%
Y=100%
計=150%

K Y U S H U

M=75%
Y=100%
計=175%

視認性の良い場合は
計=100%を超える
色で表現して下さい。

視認性の良くない
黄色系などの場合は
計=150%を超える
色で表現して下さい。

「九州ロゴマーク」では基本カラーを「ブラック＝黒」に設定していますが、多様な色での表現も可能です。

色は特に固定せず使用の媒体のデザインに合わせて適切な色で表現して下さい。

使用の自由度を高めることによりロゴマークの利用を促進し、九州の一体感の醸成を図ります。

色は限定しませんが、下記を見本に濃度のパーセンテージ基準を厳守して下さい。

カラー表現例

視認性の良い濃度（背景が計＝50%以上）の色で表現して下さい。



【背景】
C=30%
M=50%
計=80%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
C=50%
M=35%
計=85%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
C=50%
計=50%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
C=50%
Y=50%
計=100%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
C=30%
Y=60%
計=90%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
M=25%
Y=50%
計=75%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
M=50%
Y=30%
計=80%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
M=50%
計=50%

【ロゴマーク】
白ヌキ

カラー表現例

背景とシンボルの濃度差を70%以上の色で表現して下さい。



【背景】
C=30%
M=50%
計=80%

【ロゴマーク】
C=60%
M=100%
計=160%



【背景】
C=50%
M=35%
計=85%

【ロゴマーク】
C=100%
M=70%
計=170%



【背景】
C=30%
計=30%

【ロゴマーク】
C=100%
計=100%



【背景】
C=40%
Y=40%
計=80%

【ロゴマーク】
C=100%
Y=100%
計=200%



【背景】
C=20%
Y=40%
計=60%

【ロゴマーク】
C=60%
Y=100%
計=160%



【背景】
M=20%
Y=40%
計=60%

【ロゴマーク】
M=75%
Y=100%
計=175%



【背景】
M=40%
Y=20%
計=60%

【ロゴマーク】
M=100%
Y=100%
計=200%



【背景】
M=30%
計=30%

【ロゴマーク】
M=100%
計=100%

「九州ロゴマーク」では基本カラーを「ブラック=黒」に設定していますが、多様な色での表現も可能です。

色は特に固定せず使用の媒体のデザインに合わせて適切な色で表現して下さい。

使用の自由度を高めることによりロゴマークの利用を促進し、九州の一体感の醸成を図ります。

色は限定しませんが、下記を見本に濃度のパーセンテージ基準を厳守して下さい。

× 禁止例

カラー表現例 視認性の良い濃度 (計=250%未満) の色で表現して下さい。

計=250%以上の場合はNG



「九州ロゴマーク」では基本カラーを「ブラック=黒」に設定していますが、多様な色での表現も可能です。

色は特に固定せず使用の媒体のデザインに合わせて適切な色で表現して下さい。

使用の自由度を高めることによりロゴマークの利用を促進し、九州の一体感の醸成を図ります。

色は限定しませんが、下記を見本に濃度のパーセンテージ基準を厳守して下さい。

カラー表現例

視認性の良い濃度（背景が計=50%以上）の色で表現して下さい。



【背景】
C=60%
M=100%
計=160%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
C=100%
M=70%
計=170%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
C=100%
計=100%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
C=100%
Y=100%
計=200%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
C=50%
Y=100%
計=150%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
M=75%
Y=100%
計=175%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
M=100%
Y=100%
計=200%

【ロゴマーク】
白ヌキ



【背景】
M=100%
計=100%

【ロゴマーク】
白ヌキ

カラー表現例

背景とロゴマークの濃度差を70%以上の色で表現して下さい。



【背景】
C=60%
M=100%
計=160%

【ロゴマーク】
C=20%
M=50%
計=70%



【背景】
C=100%
M=70%
計=170%

【ロゴマーク】
C=50%
M=30%
計=80%



【背景】
C=100%
計=100%

【ロゴマーク】
C=30%
計=30%



【背景】
C=100%
Y=100%
計=200%

【ロゴマーク】
C=40%
Y=40%
計=80%



【背景】
C=60%
Y=100%
計=160%

【ロゴマーク】
C=20%
Y=40%
計=60%



【背景】
M=75%
Y=100%
計=175%

【ロゴマーク】
M=20%
Y=40%
計=60%



【背景】
M=100%
Y=100%
計=200%

【ロゴマーク】
M=30%
Y=30%
計=60%



【背景】
M=100%
計=100%

【ロゴマーク】
M=30%
計=30%

「九州ロゴマーク」では基本カラーを「ブラック=黒」に設定していますが、多様な色での表現も可能です。
色は特に固定せず使用の媒体のデザインに合わせて適切な色でデザイン性の高い3色で表現して下さい。
使用の自由度を高めることによりロゴマークの利用を促進し、九州の一体感の醸成を図ります。
色は限定しませんが、下記を見本に濃度のパーセンテージ基準を厳守して下さい。

**【注意事項】※複数色の場合は必ず3色を用いて表現して下さい。※2色または、4色以上は使用しないでください。
※複数色の場合の「ロゴタイプ」はスミまたは白で表現して下さい。**

カラー表現例（背景が白の場合）

視認性の良い1色の掛け合わせの合計が100%を超える3色で表現して下さい。



※



KYUSHU



KYUSHU

※1 番左の場合

●ロゴマーク

【赤】 M=100%、Y=100% 計=200%

【緑】 C=100%、Y=100% 計=200%

【青】 C=100%、M=70% 計=170%

●ロゴタイプ

K=100%

カラー表現例（背景が薄い色、同系色の場合）

視認性の良い1色の掛け合わせの合計が100%を超える3色で表現して下さい。背景とシンボルの濃度差を70%以上の色で表現して下さい。



※



KYUSHU



KYUSHU

※1 番左の場合

●ロゴマーク

【赤】 M=100%、Y=100% 計=200%

【緑】 C=100%、Y=100% 計=200%

【青】 C=100%、M=70% 計=170%

●背景

【黄】 M=10%、Y=40% 計=50%

●ロゴタイプ

K=100%

カラー表現例（背景が黒の場合）

視認性の良い1色の掛け合わせの合計が250%未満の3色で表現して下さい。



※



KYUSHU



KYUSHU

※1 番左の場合

●ロゴマーク

【赤】 M=100%、Y=100% 計=200%

【緑】 C=100%、Y=100% 計=200%

【青】 C=100% 計=170%

●背景

K=100%

●ロゴタイプ

白ヌキ

カラー表現例（背景が濃い色、同系色の場合）

視認性の良い濃度（背景が計=50%以上）の色で表現して下さい。背景とロゴマークの濃度差を70%以上の色で表現して下さい。



※



KYUSHU



KYUSHU

※1 番左の場合

●ロゴマーク

【黄】 Y=50% 計=50%

【緑】 C=50%、Y=50% 計=100%

【青】 C=50% 計=50%

●背景

【黄】 M=100%、Y=100% 計=200%

●ロゴタイプ

白ヌキ

C : Public information & Advertising

C : 広報・広告・販促物・WEB など

広報・広告で使用される各種媒体は、「九州ロゴマーク」のアイデンティティを広く一般に反復訴求し、統一されたイメージを形成するためには欠かせないアイテムです。

したがって、これらの媒体にはしっかりとしたアイデンティティの表現が必要となります。実際のデザイン計画においては以下の点に留意してください。

- 1) デザインに応じて、もっとも適切なロゴマークの表現を選択し、コミュニケーション効率を高めること。
- 2) 質の高い表現を心掛けるとともに、基本デザイン要素を永続的に、なおかつ規則性をもって明確に打ち出すことで、社会に対し「九州ロゴマーク」の存在を望ましい形で伝達し、「九州はひとつ」の理念のもと、九州・山口各県が一体となった独自の取り組みの認知度と好感度を高めること。

●基本デザイン要素の再現にあたっては、必ず「マスターデータ」を使用して正確に再現してください。

●むやみに手を加えたり、作図することのないようにしてください。

媒体によって適切な大きさを、左上部にシンボルのBを基準とし3Bの余白の位置に配置してください。
ただし、右開きの場合などは、左がノドに当たるため右上部に3Bを確保して配置してください。

●基本フォーマット（左上部）



●基本フォーマット（右上部）



各販促物などの製作にあたっては本ガイドラインを参考にして、必ずマスターデータを使用し、「A・3 アイソレーション (P7)」を遵守して正しく再現してください。

●展開例 (名刺 55mm×90mm)



●展開例 (のぼり)



●展開例 (ペーパーバッグ)



再現にあたっては本ガイドラインを参考にして、必ずマスターデータを使用してください。
ただし、ムービングロゴとしての使用は避けてください。

●PCサイト・展開例 (TOPページ)



●スマホサイト・展開例 (TOPページ)



● ポジティブ



九州
KYUSHU

● ネガティブ



九州
KYUSHU

九州地域戦略会議

九州の統一ロゴマークの作成・活用ワーキンググループ事務局

担当：福岡県総務部県民情報広報課

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号

電話：092-643-3102

FAX：092-632-5331

E-mail：kenjo@pref.fukuoka.lg.jp

マスターデータについて

申請承認後にDVDにてお渡しいたします。

必要な方は上記までご連絡ください。